

©子どもたちをよろしく製作運動体

年少者映画審議会 推薦作品

子どもたちをよろしく

監督・脚本：隅田靖

出演：鎌滝えり 杉田雷麟 椿三期 川瀬陽太 村上淳 有森也実

企画：寺脇研・前川喜平

開催日時：

2022年3月26日（土）9時～17時

映画のストーリー

東京にほど近い北関東のとある街。デリヘルで働く優樹菜は、実の母親・妙子と義父・辰郎そして、辰郎の連れ子・稔の四人家族。辰郎は酒に酔うと、妙子と稔には暴力、血の繋がらない優樹菜には性暴力を繰り返した。母の妙子は、まったく不器用で、見てみぬふり。義弟の稔は、父と母に不満を感じながら優樹菜に淡い想いを抱いていた。優樹菜が働くデリヘルで運転手をする貞夫は、重度のギャンブル依存症。一人息子・洋一をほったらかし帰宅するのはいつも深夜。洋一は暗く狭い部屋の中、帰ることのない母を待ち続けていた。稔と洋一は、同じ学校に通う中学二年生。もとは仲の良い二人だったが、洋一は稔のグループからいじめの標的にされていた。ある日、稔は家の中で、デリヘルの名刺を拾う。姉の仕事に疑問を抱いた稔は、自分も洋一と同じ、いじめられる側になってしまうのではないかと一人怯えるようになる。稔と洋一、そして優樹菜。家族ナシ。友だちナシ。家ナシ。居場所をなくした彼らがとった行動とは――子どもたちを取り巻く現実を直視し、社会の問題を一緒に考えていただきたく、特別映像とともに、高校生以上の全ての方と子どもの保護者・教育者の方に向けてお薦めします。

特別映像

解説 望月衣塑子さん（東京新聞記者）

活動紹介とメッセージ 赤井郁夫さん（一般社団法人 office ひと房の葡萄）

ご挨拶 当会会長 津久井進

完全事前申込制

参加費無料

主催 兵庫県弁護士会
共催 日本弁護士連合会／近畿弁護士会連合会



「子どもたちをよろしく」 映画オンライン上映会

参加申込方法 <完全事前申込制>

下記お申込 URL もしくは QR コードより、申込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込ください。

<https://ws.formzu.net/dist/S52315729/>

メールにて視聴用 URL をご案内しますので、当日9時～17時のご都合の良い時間帯にアクセスの上ご視聴ください。



本上映会は完全オンラインで実施しますので、当日、当会にお越しいただいてもご覧いただけません。ご提供いただいた個人情報は、兵庫県弁護士会のプライバシーポリシーに従い、厳重に管理し、参加人数把握のために使用します。また、個人情報は、本イベント終了後、直ちに消去いたします。

お問い合わせ先：兵庫県弁護士会(TEL：078-341-7061)

ぼくたちの叫びが
聞こえますか

子どもたちを よろしく

【企画】
寺脇研×前川喜平

『ワルボロ』から12年。
隅田靖が描く、
日本社会に潜む凶暴な闇。
こんな日常を許しているのは、
誰なのか――。

鎌滝えり 杉田雷麟 椿三期

斉藤陽二郎 ぎい子 速水今日子 金丸竜也 大宮千莉 武田勝斗 山田キヌヲ 上西雄大
小野孝弘 林家たけ蔵 苗村大祐 初音家左橋 難波真奈美 上村ゆきえ 木村和幹 外波山文明
川瀬陽太 村上淳 有森也実

監督・脚本 隅田靖 企画 寺脇研・前川喜平

統括プロデューサー 寺脇研 プロデューサー 片嶋貴 特別協力 澤井信一郎 撮影 鍋島淳裕 照明 堀口健 録音 白井勝
美術 佐々木記貴 衣裳 橋爪里佳 (メイク) 松本智菜美 編集 大畑英亮 音楽 遠藤幹雄 スチール 北村崇 協力 桐生市
製作プロダクション ドッグシユガー 配給 宣伝太秦 2019年 日本 カラー 105分 ©子どもたちをよろしく製作運動体

この作品は、中学生のいじめと自殺、
その裏にある家庭の問題をリアルに描いている。
とても重い映画。しかしこれは現実だ。
この現実に関心する多くの人が気づくことが大事なのだ。

前川喜平 (元文部科学省事務次官)

オリンピック、カジノ、万博…世の中が浮足立つなかで、子どもを巡る事件が、毎日のように報じられる。しかし、子どもたちの世界に目が向けられることは少ない。いじめに苦しみ、そのために死を選んでしまう少年、性的虐待を受け自らを「汚れた存在」と思い込んでしまい風俗産業に身を沈める少女、そんな彼らに、われわれ大人は手を差し伸べることができるのか。いや、アルコール依存、ギャンブル依存、対人依存、同調圧力など、大人社会にはびこる闇こそが問題の源なのではないのか。その問いかけを、観客の皆さんに投げ

かけたい——。それがこの映画を作った一番の狙いだ。映画の中の子どもたちは、悩み、苦しみ、他人を追い詰め、自分を追い詰めていく。子どもたちの心の中の闇を振り絞るような叫び！この叫びがあなたの胸に届くだろうか。

これが、文部科学省で長らく日本の子どもたちの実態と向き合ってきた企画・統括プロデューサーの寺脇研、企画の前川喜平、二人の願いであり、それを映画という形に仕上げた脚本・監督の隅田靖の思いなのだ。



子どもたちをよろしく

出演：鎌滝えり 杉田雷麟 椿三期 川瀬陽太 村上淳 有森也実 監督・脚本：隅田靖 企画：寺脇研・前川喜平
製作プロダクション：ドッグシュガー 配給・宣伝：太秦 2019年|日本|カラー|105分 ©子どもたちをよろしく製作運動体

東京にほど近い北関東のとある街。デリヘルで働く優樹菜(鎌滝えり)は、実の母親・妙子(有森也実)と義父・辰郎(村上淳)そして、辰郎の連れ子・稔(杉田雷麟)の四人家族。辰郎は酒に酔うと、妙子と稔には暴力、血の繋がらない優樹菜には性暴力を繰り返した。母の妙子は、まったくなす術なく、見てみぬふり。義弟の稔は、父と母に不満を感じながら優樹菜に淡い想いを抱いていた。優樹菜が働くデリヘル「ラブラブ48」で運転手をする貞夫(川瀬陽太)は、妻に逃げられ重度のギャンブル依存症。一人息子・洋一(椿三期)をほったらかし帰宅するのはいつも深夜。洋一は暗く狭い部屋の中、帰ることのない母を待ち続けていた。稔と洋一は、同じ学校に通う中学二年生。もとは仲の良い二人だったが、洋一は稔たちのグループからいじめの標的にされていた。ある日、稔は家の中で、デリヘルの名刺を拾う。姉の仕事に疑問を抱いた稔は、自分も洋一と同じ、いじめられる側になってしまうのではないかと、一人怯えるようになる。稔と洋一、そして優樹菜。家族ナシ。友だちナシ。家ナシ。居場所をなくした彼らがとった行動とは——

Twitter: @kodomoyrsk Facebook: kodomoyoroshiku.com 映倫 157-144

兵庫県弁護士会『子どもたちをよろしく』オンライン上映会 2022年3月26日(土)9時-17時※随時視聴可
「こんな時代だからこそ、観てほしい、そして考えてほしい…」 弁護士会会長イチオシ映画です！当日限りの特別映像もぜひ！

●上映会内容● ※完全オンライン上映会です。当日弁護士会では上映いたしません。※参加無料
映画本編105分 特別映像約25分 【①解説(望月衣塑子さん・東京新聞記者) ②活動紹介とメッセージ(一般社団法人office
ひとりの葡萄・赤井郁夫さん) ③ご挨拶(兵庫県弁護士会会長・津久井進さん)】

下記お申込URLor右のQRコードよりお申込みの上、案内される視聴URLにアクセスください。当日9時~17時に随時ご視聴いただけます。*お申込URL: <https://ws.formzu.net/dist/S52315729/> *お問い合わせ先: 兵庫県弁護士会(078-341-7061)

